

地域のみなさまのご意見をお聞かせください

## 小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート調査 質問用紙

本アンケートは、小田原市の新しい学校づくりに向けて、学校運営協議会委員・学校評議員の皆様、小・中学校について、現状や望ましい姿などのお考えを伺う調査です。

調査結果やいただいたご意見は、「新しい学校づくり検討委員会」での議論の参考にするものです。また、調査は無記名であり、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご回答ください。

2022年8月  
小田原市教育委員会

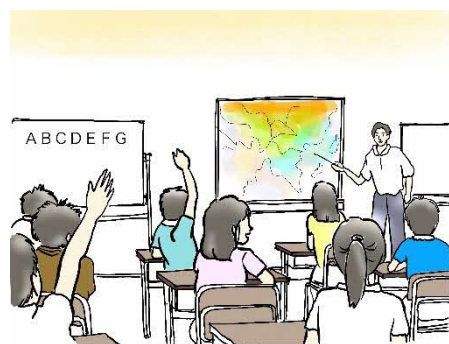
### 【新しい学校づくり推進事業について】

少子化の進行や新型コロナウイルス感染症のリスクに備えた新しい生活様式、さらにはICTを活用した学習環境の整備など、子供たちや学校を取り巻く状況が大きく変化しています。

そのような現状を踏まえ、小田原市教育委員会では、子供たちにとって望ましい教育環境について検討する「新しい学校づくり検討委員会」を令和4年4月に設置し、子供たちの教育環境を充実させるために必要となる適正な学級数・学校配置のあり方や、新しい学校に必要な機能などについて検討してまいります。

(小田原市ホームページ)

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/education/plan/gakkousuishin/>



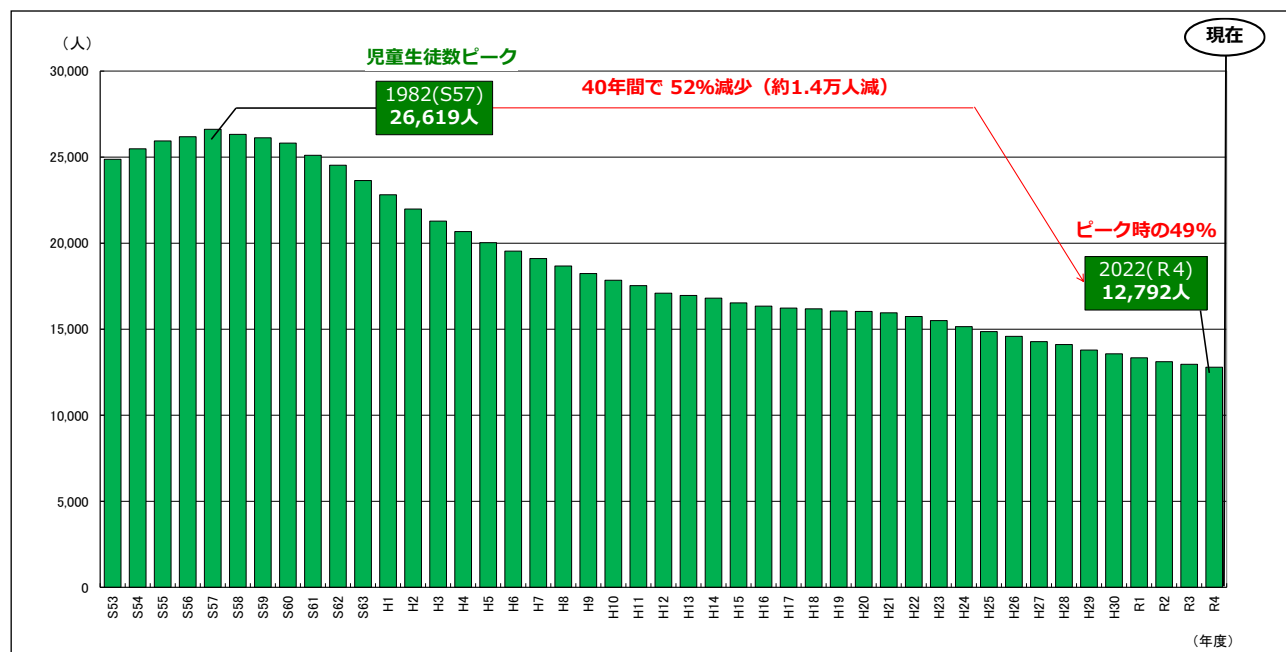
## 【本市の児童・生徒数について】

小田原市立学校全体の児童・生徒数の推移は、昭和 57 年度の 26,619 人をピークに減少傾向が続いており、令和 4 年度では、12,792 人とピーク時の約 5 割まで減少しています。

また、令和 4 年度時点の各学校の学級数は、通常学級数が 12 学級未満の学校が小学校 11 校（小規模特認校である片浦小含む。）、中学校 5 校の計 16 校となっています。

※文部科学省が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」によると、学級数については小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」が標準とされています。

### <児童・生徒数の推移>



### <各学校の通常学級数（令和 4 年度）>

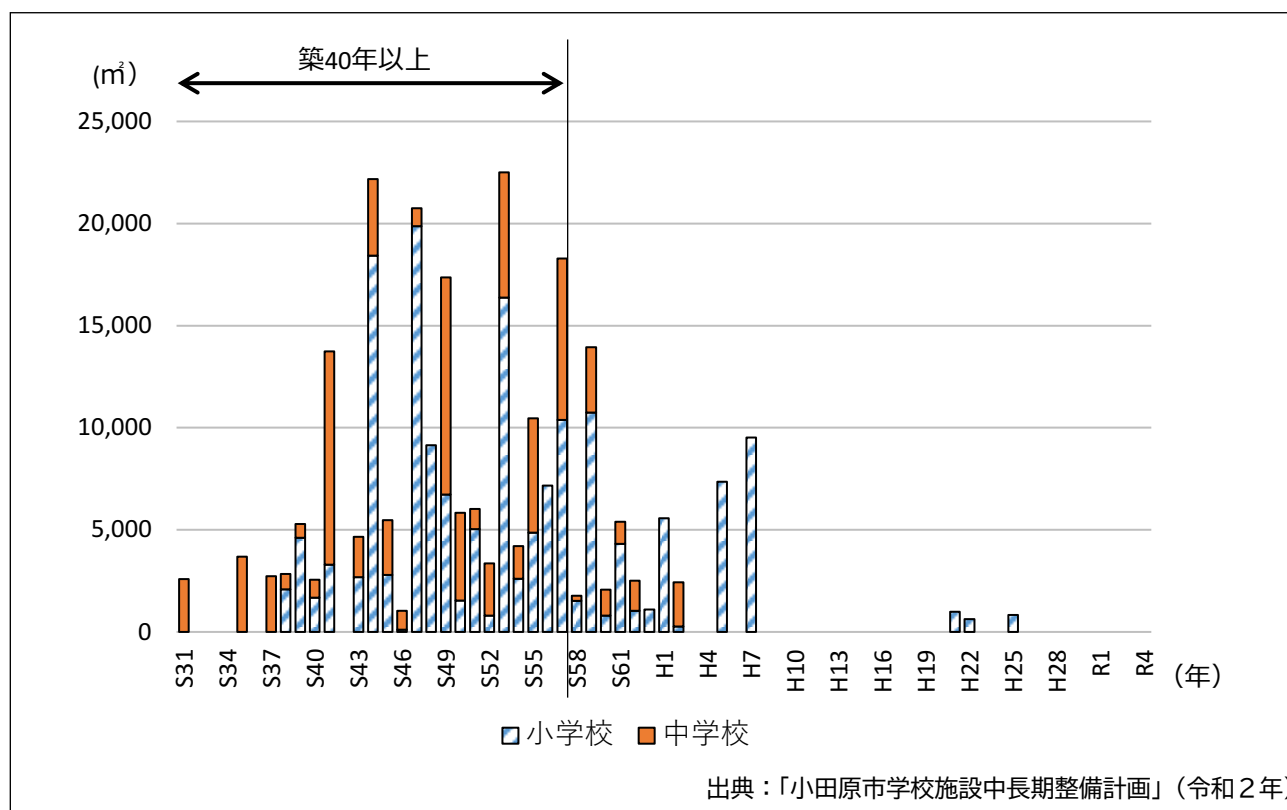
学級数	小学校	中学校
18 学級以上	三の丸 豊川	
12~17 学級	足柄 芦子 富水 東富水 報徳 桜井 下府中 矢作 酒匂 国府津 千代 富士見	白山 泉 城北 鴨宮 酒匂 千代
7~11 学級	久野 町田 大窪 下中	城山 白鷗 国府津 橘
6 学級以下	山王 新玉 早川 下曾我 曾我 片浦 前羽	城南

### 【本市の学校施設の老朽化について】

本市の学校施設整備は、児童・生徒数が増加していた昭和43年から昭和62年の20年間に大半を整備している一方、平成10年以降はほとんど新規整備を行っていません。

下の表は、校舎のうち最も古い建築年度を基準とし、築年数別（10年単位）にグルーピングした際の施設数一覧です。これによると、小学校5校は築40年未満ですが、残りの31校は既に築40年を経過し、老朽化が進行していること分かります。

＜築年別整備状況＞



＜学校施設の築年別一覧表＞

築40年未満	【小学校】三の丸 大窪 下曾我 前羽 富士見
築40～49年	【小学校】久野 下府中 片浦 曾我 下中 報徳 豊川 【中学校】千代 国府津 酒匂※ 城北
築50～59年	【小学校】新玉 足柄 芦子 早川※ 山王※ 富水 町田 桜井 千代 国府津 酒匂 東富水 矢作 【中学校】城山 城南 泉 橘
築60年超	【中学校】白鷗※ 白山 鴨宮

※を付した学校施設は、洪水浸水想定区域（河岸浸食）（早川小）、津波災害区域（山王小、白鷗中、酒匂中）となっている

**★4 ページからアンケート調査の設問になります。**

## 回答者について

問1：配布されている用紙に記載された、整理番号を記入してください。

--

問2：お住まいの住所の郵便番号を記入してください。

--

問3：あなたが所属している学校運営協議会・学校評議員の校種に○をつけてください。

(1) 小学校      (2) 中学校

問4：所属している小学校名・中学校名に○をつけてください。

	学校名
小学校	三の丸 新玉 足柄 芦子 大窪 早川 山王 久野 富水 町田 下府中 桜井 千代 下曾我 国府津 酒匂 片浦 曾我 東富水 前羽 下中 矢作 報徳 豊川 富士見
中学校	城山 白鷗 白山 城南 鴨宮 千代 国府津 酒匂 泉 橋 城北

## 学校全般について

問5：これからの学校教育で重視することについて、お考えに近いものを3つまで○をつけてください。

- (1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導
- (2) グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境
- (3) 競争意識をもって学力を高め合うことができる環境
- (4) たくさんの友達ができること
- (5) 学年を超えた交流・活動（行事等）が多いこと
- (6) 集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること
- (7) クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと
- (8) その他（自由記述）

※(8)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

--

## 学級数等について

問6：1学級あたりの人数は、どのくらい的人数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 0～10人 (2) 11～15人 (3) 16～20人 (4) 21～25人 (5) 26～30人 (6) 31～35人 (7) 36～40人
---

問7：問6の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1)	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる				
(2)	発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる				
(3)	子供たちの人間関係が深まりやすい				
(4)	少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる				
(5)	集団の中で切磋琢磨することができる				
(6)	多様な価値観に触れることができる				
(7)	その他（自由記述）				

※(7)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問8：1学年あたりの学級数は、どのくらいの学級数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 1学級	(2) 2学級	(3) 3学級	(4) 4学級
(5) 5学級	(6) 6学級	(7) 7学級以上	

問9：問8の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つを選んでください。

		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1)	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている				
(2)	クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい				
(3)	学年を超えた交流・活動（行事等）ができる				
(4)	クラス替えができる				
(5)	多様な価値観に触れる機会がある				
(6)	クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる				
(7)	その他（自由記述）				

※(7)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

--

## 通学・学区について

問 10：通学時間（片道）はどのくらいが許容範囲ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 15分未満
- (2) 15分以上 30分未満
- (3) 30分以上 45分未満
- (4) 45分以上

※(4)45分以上に○をつけた方は、何分までが許容範囲かをこちらに記述してください

問 11：前の設問で回答した通学時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮が必要だと考えますか。当てはまるもの3つに○をつけてください。

- (1) 住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする
- (2) 公共交通機関（バスなど）が利用できるようにする
- (3) スクールバスの運行
- (4) 自転車が利用できるようにする
- (5) 自動車が利用できるようにする
- (6) その他（自由記述）

※(6)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 12：学区の見直しをする場合、次の事項は重要ですか。それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

		とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない
(1)	人数や学級数				
(2)	安全に通学できる距離と時間				
(3)	1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする				
(4)	自治会が複数の学区にまたがないようにする				
(5)	その他（自由記述）				

※(5)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

**地域と学校との関わりについて**

問 13：所属している学校で行っている地域と学校との交流や、学校で行った活動などの中で、地域にとって重要と思うものや印象に残っているものがあれば、ご記入ください。(自由記述)

例：健民祭



問 14：地域において、学校がこれまで果たしてきた役割について、それぞれの項目で最も当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1)	子供たちの学びの場				
(2)	子供たちの放課後の居場所・活動場所				
(3)	地域の防災拠点				
(4)	選挙の投票所				
(5)	地域の活動・交流の拠点				
(6)	スポーツ活動の拠点				
(7)	文化・生涯学習活動の拠点				
(8)	子育て支援の拠点				
(9)	高齢者福祉の拠点				
(10)	障がい福祉の拠点				
(11)	行政窓口サービス等の拠点				
(12)	その他（自由記述）				

※(12)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 15：地域において、これからの学校に期待する役割について、それぞれの項目で最も当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1)	子供たちの学びの場				
(2)	子供たちの放課後の居場所・活動場所				
(3)	地域の防災拠点				
(4)	選挙の投票所				
(5)	地域の活動・交流の拠点				
(6)	スポーツ活動の拠点				
(7)	文化・生涯学習活動の拠点				
(8)	子育て支援の拠点				
(9)	高齢者福祉の拠点				
(10)	障がい福祉の拠点				
(11)	行政窓口サービス等の拠点				
(12)	その他（自由記述）				

※(12)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

## 教育環境・学校施設について

問 16：これからの学校施設に期待する機能について、それぞれの項目で最も当てはまる項目 1 つに ○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1)	安全・安心な学校				
(2)	児童・生徒が快適に学習できる環境				
(3)	教職員が快適に働くことができる環境				
(4)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン※の推進				
(5)	環境への配慮				
(6)	地域の方が使うことができるスペースの充実				
(7)	避難所機能の強化				
(8)	子育て支援機能との複合化				
(9)	その他（自由記述）				

※ユニバーサルデザイン：文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの方が利用できることを目指したデザイン。

※(9)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 17：所属している学校の施設について、それぞれの項目で最も当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

場所	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
教室	広さ				
	安全性				
	快適さ（温度など）				
	使いやすさ				
トイレ	広さ				
	安全性				
	快適さ（温度・洋式化など）				
	衛生面				
体育館	広さ				
	安全性				
	快適さ（温度など）				
	使いやすさ				
校庭	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				
プール	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				

問 18：問 17 に関して、具体的な内容やその他気になることがあればご記入ください。（自由記述）

問 19：学校施設と地域のつながりについて、どのように考えますか。当てはまるものを3つまで○をつけてください。

- (1) 体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする
- (2) 地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする
- (3) 図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする
- (4) 音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする
- (5) 安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない
- (6) その他（自由記述）

※(6)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 20：学校敷地に併設・隣接しているといいと思うのはどのような施設ですか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- (1) 保育園、幼稚園、子育て支援センターなどの子育て支援施設
- (2) 老人ホーム、デイサービスなどの高齢者福祉施設
- (3) グループホーム、作業所などの障がい者支援施設
- (4) 災害時に利用できる施設
- (5) 文化、生涯学習、スポーツ活動に利用できる施設
- (6) 行政サービスの窓口
- (7) 商業施設
- (8) 公園
- (9) 現状のままで良い
- (10) その他（自由記述）

※(10)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 21：学校施設に前の設問で挙げた施設等が併設・隣接された場合、どのような配慮が必要になる  
 と思いますか。それぞれの項目で最も当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

		とても重要 である	まあ重要で ある	あまり重要 でない	全く重要で ない
(1)	学習活動に集中できるようにする				
(2)	事故防止の対策				
(3)	事故が起きた時に責任の所在を 明確にするルール				
(4)	光熱水費などの費用負担のルール				
(5)	その他（自由記述）				

※(5)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 22：本市の「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望があれば、ご記入ください。  
(自由記述)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。